



TOHOKU EPO通信

[エポ]
東北環境パートナーシップオフィス



vol. 12



COP10 本会議場の様子

Contents

※ COP10 レポート

- 「NGO から見た生物多様性条約第 10 回締約国会議とその成果」
- 「COP10 本会議レポート」
- 「COP10 に参加して」
- 「仙台広域圏 RCE」

※ eco*item

※ 東北 6 県 EPO トピックス

東北環境パートナーシップオフィスとは

東北環境パートナーシップオフィス（略称：EPO 東北）は、東北地域の環境活動を促進するために、人と人をつなぐ拠点となることを目的としています。さまざまな分野の人や組織が垣根を越えて協働できるよう、地域の環境情報の発信と交流機会の提供を行い、活動の広がりや新たな取り組み創出のきっかけ作りを担います。たくさんの方が EPO 東北をきっかけに出会い、新たな環境活動の環が広がるよう、皆さんのパートナーシップ作りを支援します。

COP10 レポート

2010年10月18日(月)~29日(金)の日程で、生物多様性条約(CBD)第10回締約国会議(COP10)が、愛知県名古屋市にて開催され、179の締約国、関連国際機関、NGO等から13,000人以上が参加しました。

今回の会議においては、遺伝資源へのアクセスと利益配分(ABS)に関する名古屋議定書と2011年以降の新戦略計画(愛知目標)が採択され、終了しました。

今号では、COP10の模様をお伝えいたします。



折り紙で彩られた「COP10」ロゴ



インドネシアでのオランウータンの保護を呼び掛けていました



松本環境大臣



COP11は2012年インドで開催されます

Report 1

NGOから見た生物多様性条約第10回締約国会議とその成果

生物多様性条約市民ネットワーク/ラムネット日本/日本雁を保護する会 呉地 正行

10月18-29日に、生物多様性条約第10回締約国会議(CBD/COP10)が名古屋で開催され、会議全期間を通じて参加した。CBDは、多様な生きものを保全し、その恩恵を末永く利用可能にし、遺伝資源から得られる利益の公平な分配をめざす条約だ。名古屋会議の主目的は、締約国政府が生物多様性の未来に関わる様々な決議案について議論し、それに合意し採択することだ。またそれに関連するイ

ベントも行われ、会議場内では346の公式サイドイベント、会議場外では多数のブース展示、フォーラム、イベントが行われ、世界NGO会議も開催され、1万人を超える人々が参加した。

この会議では日本のNGOが日本政府に働きかけ、日本政府が提案した2つの決議が採択された。NGO発案の決議のひとつは、日本政府提案の「国連生物多様性の10年」を支持する決議で、これはCBD/COP10以降の10年間の生物多様性を活かした活動を支える枠組みとなる。この決議は1年前のIUCNJのシンポジウムでの私の提案をきっかけにCBD市民ネットワークが条約事務局や日本政府と話し合いを行い、COP10でその採択にたどり着いた。もうひとつは、「水田決議」だ。これは2008年のラムサールCOP10で、日韓NGOが支援し日韓政府の提案で採択された「水田の生物多様性の向上」決議を



意識し、ラムサールとCBDをつなぐ架け橋と作ろうとするものだ。

1年前からNGO(ラムネット日本)が環境、農水、国交省に呼びかけ、10回の会議を重ね、NGOの素案を元に政府案を練り上げ、それが5月にケニヤでの事前会合(SBSTTA14)での合意を経てCBD/COP10で採択された。今回のCOP10は日本のNGOがその存在感を示すよい機会となった。





Report
2

COP10 本会議レポート

東北大学大学院農学研究科准教授 冬木 勝仁



私は MELON の代表として COP10 に参加しました。正式に登録していたので、セキュリティー内に入ることができ、閣僚級会合など議定書を採択する

ための政府間の会議を傍聴することができました。閣僚級会合では皆一様にこの会合で何らかの合意を得ることの重要性

を訴えていましたが、国の置かれた状況によって若干の相違が感じられました。生物資源の利用による経済的利益の配分をめぐる途上国と先進国の対立は既に数多く伝えられていますが、途上国代表の多くは、「バイオパイラシー」という用語を繰り返し使い、先進国が受け入れ難い過去に遡った利益配分も主張していました。また、政府間会合のほか、本会議場内には公式に NGO の会議場が設けられ、断続的に会議が行われており、そこでの議論の内容も何らかの形で合意内容に反映されたと思います。

最後に、議定書等を採択するための全体会議では、冒頭に議長である松本環境大臣が、採択する項目について「繊細なバランス」で合意した内容であると表現し、最終段階で意義を申し立てないよう各国代表に呼びかけていました。それほど今回の会議はとりまとめが困難で、予定日中には決着せず、日付が変わって午前2時半頃になんとか採択されました。COP10の参加者の一人として、名古屋議定書等が生物多様性の保全に有効に働くよう、私も努力しようと思います。

Report
3

COP10 に参加して

NPO はちろうプロジェクト 鏡 長秀

去る10月23日から10月25にかけて、秋田県秋田地域振興局とともに「生物多様性交流フェア」へブース出展を行いました。

期間中は天候にも恵まれ、ブースを訪ねて来られる多くの方々へ八郎湖の自然再生活動について知っていただくことが出来ました。

背中に「秋田県」と書いてある法被を着ていたこともあり、東北出身の方からはもとより、東京から北へは行った事がないと

いった地元名古屋の方々からも、励ましの言葉を頂きました。23日にはNHK秋田放送局が開催していた秋田県湯上市での生物多様性シンポジウムの中へも、携帯電話による「現地リポート」という形で参加し会場の様子を伝えることができました。

今回の参加で、他の団体の活動に触れることができ、大きな刺激を受け、今後の活動に向けて非常に有意義な機会となりました。



Report
4

仙台広域圏 RCE

特定非営利活動法人水守の郷・七ヶ宿 理事長 海藤 節生



生物多様性って何？ COP10への出展が決まった日から生物多様性について考える僕の毎日が始まりました。ちょうど夏の暑い時期。田んぼや畑は勿論のこと農業用水や家の前、仕事の合間を縫ってする草刈りは大変です。草を刈る度に葛藤するようになりました。

我々が雑草と呼ぶ植物の姿がまったく

ない管理された施設の花壇。その隣りに、僕の1反5畝の田んぼがあります。何も足さない何もひかない僕の田んぼの稲のまわりには、たくさんの生き物たちが住んでいます。

会場には生物多様性という切り口でたくさんのブースが並べられていたわけですが、同じ宮城県からNPO法人「田んぼ」もブースを構え田んぼでの様々な取組を発表していました。彼らの活動の中に田んぼの生き物調査があります。七ヶ宿での調査では46種類の生き物が見つかりました。

あなたの近くの田んぼには何種類の生き物たちが住んでいるのでしょうか？「5668」NPO法人「田んぼ」のブースではこのポスターに目を惹かれました。私たちは大地という工場から恵みを受け、

命をつないでいます。僕たちのブースには、たくさんの生き物たちが住む水の惑星をイメージした巨大絵画を展示しました。未来を作っていくこどもたち。都会では水溜まりを探すのも難しくなりました。都会から移住した頃当時4歳の長男が凸凹道を歩くのに何度も躓いていた姿を見てショックを受けました。本来、道は平坦ではないのです。人生を「いばらの道」と例えることがありますが「いばら」を知らないこどもたちにそれを伝えることは出来ません。

でこぼこした林道を歩き、芝を刈り、薪で焚くごはんをこどもたちに食べさせたい。学校で教えてくれないことを学ぶ「七ヶ宿山学校」に是非お立ち寄り下さい。
TEL・FAX0224-37-2171
(NPO法人 水守の郷・七ヶ宿)

eco*item

とても身近な生活雑貨にも、
何度も使えるエコアイテムが登場しています。
使い捨て商品を卒業して「使い捨てないエコ」、
気軽にはじめませんか？



- ②「ミルカフェ」コーヒーメーカーにも
ドリッパーにも使えます。(735円)

「スウェーデンインポートオフィス」
<http://millecafe.com>

コーヒーフィルター

年間、何枚のペーパーフィルターを捨てているでしょう？
コーヒー好きの方には洗って何度も使えるフィルターをお勧めします。



- ①「セラミックフィルター」
多孔質セラミック製 (2,100円~)

「株式会社東洋セラミックス」
<http://www.toucera.co.jp/shop/filter/index.html>



- ③「セラエコフィルター」セラミック製 (2,940円)

「アサヒ陶研株式会社」
<http://item.rakuten.co.jp/asahitouken/10000004/>



クッキンググッズ

キッチンでの使い捨ても意外に多いもの。
耐熱性に優れたシリコン素材のアイテムを取り入れましょう。

- ① シリコンクッキングシート (2,100円)

「貝印株式会社」 <http://www.kai-group.com/jp/global/news/id/81>

エコ雑貨

- ① ドギーバッグ (819円)

残飯廃棄量は世界トップレベル。
「実は日本が一番もったいない国でした。
残した料理を持ち帰る事によって、
食べ物の大切さや食料問題について考えて欲しいのです。」
(ドギーバッグ普及委員会)



「ドギーバッグ普及委員会」
<http://www.doggybag-committee.com/controller/index.php>

- ② 充電式カイロ

「ぬくもりも使い捨てない」充電式カイロ。
スイッチ1つでon/offの切り替えができるのも魅力です。



両面が温くなる、
単3形eneloop使用の
充電式カイロ (3780円)



たまごのような
くり返し使える
充電式カイロ (2,950円)

「三洋電機株式会社」
<http://jp.sanyo.com/eneloop/lineup/kairo.html>



エコねぶた

ねぶたの照明器具をLEDに替えて温室効果ガス排出量を削減。

『パナソニックねぶた会』は青森地域のパナソニック電器専門店有志、パナソニックグループ会社が結束し地域発展、文化振興の為に、ねぶた運行しています。

今年も《水滸伝 混江竜・李俊》(制作者：北村蓮明氏)で、大いに祭りを盛り上げました。

当会では、チャレンジ25のもと温室効果ガス排出量削減のため、3年前より電球型蛍光灯700個(前回の再利用)を使用するなど「エコねぶた」を掲げています。今年は他に先駆け、ねぶた内部照明の一部にLED電球200個を使用しました。LED電球と省エネ型の電球型蛍光灯を使用することで、これまでの消費電力を約28%削減(ねぶたのカタチ、色合いにより毎年変動)し、温室効果ガス



排出量の削減に繋げ、その取り組みはマスコミにも多数取り上げられました。来年も1個でも多くのLED電球を使用し、チャレンジ25を力強くすすめていきたいと思えます。

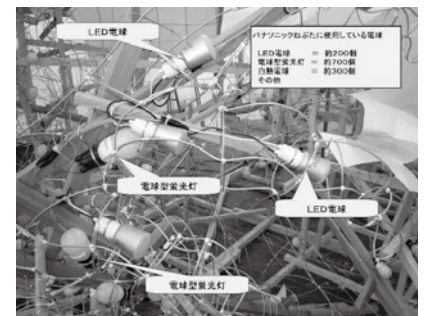
また、ねぶたの波の部分の明瞭さ、明暗、濃淡の際立った色彩も話題となり、出陣22団体のうち、ねぶた本体の最高賞「最優秀制作者賞」、全体では第4位の「商工会議所会頭賞」

東北6県 青森 EPOトピックス

パナソニックコンシューマーマーケティング株式会社
LE北海道・東北社 北東北支社

- 〒000000 ○○○○○○○○○○○○
- TEL : ○○○○○○ ●FAX : ○○○○○○
- HP : ○○○○○○○○○○○○
- E-mail : ○○○○○○○○○○
- 寄稿 : 横山 和子 氏

を受賞しました。来年1月5日に、JR青森駅海手に、ねぶたの変遷を年間を通して発信する施設「ねぶたの家 ワ・ラッセ」がオープンします。ここに1年間常設展示されるねぶたのひとつに『パナソニックねぶた』が選出されました。ぜひ一度ご覧ください。



かじかの里

石に付いた有機物を流し、石の下に酸素を送り込むことで清流化につなげ、かじかを呼び戻そう。



下内野自治会は、平成元年に設立され「結いの精神」に基づき地域づくり活動を展開してきました。かつては清流にしか生息しない「かじか」が多くいましたが、近年、生活様式の多様化・高度化で生活雑排水等による水質

汚濁が懸念されるようになり、その数も少なくなってきました。

この様な背景から、平成6年度より日本大学河野英一教授の指導のもと、「石磨き大会」を開催し今年で17回を数えます。

日本大学との交流から始まったこの「石磨き大会」は、川底にある石を磨くことで、石に付いた有機物を流し、石の下に酸素を送り込むことで清流化につなげ、

「かじか」を呼び戻そうという事業です。河川環境の大切さを学び、水質保全に対する住民意識の高揚を図りながら、川をきれいにする活動です。参加者(住民、日大生等)全員が自然に優

東北6県 岩手 EPOトピックス

下内野自治会

- 〒029-0711 岩手県一関市大東町大原字堰ノ上10-3
- TEL : ○○○○○○ ●FAX : ○○○○○○
- HP : <http://homepage3.nifty.com/kajikanosato/>
- E-mail : ○○○○○○○○
- 寄稿 : 勝部 欣一 氏

しい特製の「古縄たわし」で、川の石を磨き、水に親しみを持ちながら、都市と農村の交流の場ともなっています。石磨きと同時に、「水生生物」の生息調査を行い、水質の分析や「かじか」の生息調査も併せて行っています。「かじか」の数は、昨年まで延べ4回の放流の成果もあり、確実に増えていることが確認されており、今後も増加が期待されます。

今後は自然(特に河川)環境の保全意識の啓発が大切であると考え、川上から川下そして流域の仲間と連携して、清流化を目指した活動を展開して行きたいと考えております。

森の再生のお手伝いと 船形山頂小屋へ薪揚げ

.....

笹刈、間伐の作業でさわやかな汗をかいて、山頂へ薪を揚げて悠久の時を感じましょう。

当会は発足してから25年になります。発足当時は伐採阻止が至上命題でしたが現在はそんな対立の構図も薄れ、森林のもつ公益的機能を如何に守り活用していくかの運動に軸足を移しています。

森林管理署から国有林57畝を借り、ブナなどの伐採跡に植林された杉の間伐作業や広葉樹の稚樹のまわりの笹刈をし、樹木の生長の手助けの作業を行って10年になります。ブナの森の恵みへの感謝と登山を楽しませてくれるお礼の意味で始めました。毎年春秋の2回ですが山登りとはまた違う汗が爽やかです。

またその間伐材を薪にして、大和



町旗坂の登山口から船形山頂の避難小屋まで距離6.4km、高度差940mを担ぎ揚げます。自分の気力と体力とのバランスのとれた量で挑戦します。毎年30名位で軽トラック1台分になります。

運動の原点は「山登り」、苦勞を厭わず頂上に達して眺めると船形の山麓や里山、川、田んぼや町、そして

東北6県 宮城 EPOトピックス

船形山のブナを守る会

- 〒989-6315 宮城県大崎市三本木新沼字諏訪 137
- TEL : 0229-52-3363 ●FAX : 0229-52-3363
- HP : ○○○○○○○○
- E-mail : hunagatabuna@vidid.ocn.ne.jp
- 寄稿 : 青沼 健氏

海が見えます。山頂を覆う霧が一滴の葉露となり大地に落ち、沢となり川となり海にそそぎます。雲は空に漂い、樹間をよぎる風が身をつつんでくれます。自然との一体感に悠久の時を感じられる幸せな瞬間。

“継続こそ力なれ”。発足25周年の節目に機関誌「ブナの森10号」を発行しました。B5版140ページ1000円です。



オフセットカフェ・オフセットティー を飲んで途上国の孤児へ灯りを！

.....

環境に感心を持ち社会にプラスになる変化を起こすことを目的として集結し、様々な活動を行っています。



NGO RASICAでは、「オフセットカフェ・オフセットティーを飲んで途上国の孤児へ灯りを！」というプロジェクトを2010年から行っています。代表の菊地が2009年3月に、友人の石黒承子さんが青年海外協力隊として働くネパールの孤児院を訪れたことがきっかけでした。ネパールは電気の供給が非常に不安定で、夜に停電すると孤児は勉強ができない環境にありまし

た。そこで、太陽光エネルギーで充電するランタンをネパールの孤児院に寄付し、主に夜の勉強用に使用してもらうというプロジェクトを考えました。ソーラーパネルと充電式ランタンのセットは日本製（SANYO）で非常に性能がよく、約5時間の充電で強モードは5時間、弱モードでは20時間も使用することができます。ネパールの孤児が、太陽光で発電された電気（二酸化炭素を出さないで作られた電気）を使うと、環境価値が生まれます。その環境価値を値段に上乗せしたコーヒー・紅茶をオフセットカフェ、オフセットティーとして秋田県内のイベント等で、販売します。これは、そのコー

東北6県 秋田 EPOトピックス

NGO RASICA (ラシカ)

- 〒○○○○ ○○○○○○○○
- TEL : ○○○○○○ ●FAX : ○○○○○○
- HP : ○○○○○○○○
- E-mail : ○○○○○○○○
- 寄稿 : ○○○○氏

ヒーを飲むことで、自分の行動おける一部の二酸化炭素のオフセット(相殺)になることを理解してもらい、その環境価値の売上をランタンの再購入に使う、といったサステナブル(持続可能)なプロジェクトです。今後は秋田の発酵技術を使った栄養改善プロジェクトと併せて、別の孤児院にもランタンを届けたいと思っています。





ISO14001による成果を「見える化」!

来年度でISO14001認証10年目を迎えます。市民の方にもISOが広がっています!

山形県東根市は、平成13年10月に山形県内の自治体では初となるISO14001の認証を受けました。環境問題を解決するには、日々の生活でできる省資源・省エネなどの取り組みが大変重要です。職場環境を見直し、電気・水道量の削減やゴミの減量な

ど事務事業における環境保全活動をすれば、地球にやさしく、また経費の削減もできるということを始めました。

「勤務時間外は unnecessaryな電気は消す」や「マイ箸を持参する」など項目を設け、電気量や廃棄物量の目標値を達成するための行動をチェックシート形式で日々チェックしています。また、ISOによる成果を「見える化」するため、電気量などの削減量を金額に換算し削減額を算出しています。平成21年度末では、ISO14001を認証する前の平成12・13年度から比べおよそ7,600万円を削減しており、審査



太陽で発電 その電気で会津を走ろう

太陽光パネルで発電した電気を電動アシスト自転車に充電してレンタサイクルとして会津盆地を走らせる、2年目の取り組みです。

私共の団体は地域でエネルギーの供給を行なっている事業者やエネルギーを大量に消費する企業や団体等が中心になっています。これは時代が求めるエネルギーに対する取り組みが、理念的・先導的な取り組みから、どの程度環境に貢献できたかを定量的に示す必要がある段階に昇華したと考えるからです。

昨年度から小規模な太陽光発電装置を何基か設置し、その小さなエネルギーで何ができるかをテーマに活動を続けてきました。1つは観光客に提供する電動アシスト自転車のレンタル。観光地であり起伏の激しい会津地域では非常に好評です。もう1つは充電型の乾電池をリサイクルして学校や幼稚園、NPO等で使って頂くことで「使

い捨て乾電池を使わない街づくり」を目指しています。また教育機関で活用して頂くことで次代の子供達への環境教育にも寄与しております。活動開始以来計算上10,000kgのCO₂削減に効果があったと考えます。

今後は太陽光に留まらず、新しいエネルギーを地域の中で活用していく取り組みを進めていこうと考えております。エネルギーを新しいものに変えるということは地域の中では様々なり



東北6県 山形 EPOトピックス

山形県東根市役所

- 〒999-3795 山形県東根市中央一丁目1番1号
- TEL: 0237-42-1111 ●FAX: 0237-43-1177
- HP: <http://www.city.higashine.yamagata.jp/>
- E-mail: seikatsu@city.higashine.yamagata.jp
- 寄稿: 太田 雅美氏

等にかかる経費(約770万円)を考慮してもISOによる効果の高さが分かります。

さらに、現在ではISO14001から波及した、学校版ISO・家庭版ISO・地域版ISOなどの事業を行っており、市民の方の参加を多数いただきながら様々な形で市民の方へ環境保全を推進しています。

平成22年度は3度目の更新審査をクリアし、来年23年度で認証10年目を迎えます。10年で満足することなくこれからも継続していき、環境保全を推進していきたいと考えています。

東北6県 福島 EPOトピックス

特定非営利活動法人あいづ環境エネルギー会議

- 〒965-0044 福島県会津若松市七日町9番7号
会津地域創造支援センター
- TEL: 080-6028-6783
- HP: <http://www.npo-aizu.com/kankyo/index.html>
- E-mail: ○○○○○○
- 寄稿: 浅井 誠氏



スクを包含します。エネルギー自体の供給、機器の対応、メンテナンス、それに伴う保証や保険・・・等々、地域の中で解決しなければ新しいエネルギーの普及は拡大しません。これらを地域の中で担保していくシステムを構築することで、新しい時代のエネルギー変換に少しでもお役に立ちたいと考えております。

*EPO 東北オフィス利用案内

◆新聞情報、各種パンフレットの閲覧

東北6県の環境にまつわる記事を分野ごとにファイリングしています。各種パンフレットやイベントチラシとあわせてEPO東北オフィスで自由に閲覧していただけます。

◆ミーティングルーム貸し出し

環境活動に関するミーティングや催事に無料で貸し出しいたします。

【要事前予約】 利用人数：30名まで

※詳細はWeb-Siteでご確認いただけます、電話・FAX・メール等でご予約ください。

開館日

月曜日・・・金曜日

開館時間

10:00・・・18:00

* Web-Siteのご案内

2010.4.21
リニューアル!

- ・東北6県のイベント情報
- ・助成金情報
- ・EPO東北の動き
- ・『ESD』『生物多様性』

などの情報を掲載しています。

皆さんからの情報提供はもちろん、「こういう情報も載せて！」というリクエストも大歓迎です。お気軽にご連絡ください。

メールマガジン登録者募集中!!

2010.6月～リニューアル配信中

発行：毎月上旬 登録：無料

- ・EPO東北オフィス情報
- ・東北6県で行われている環境活動のピックアップ情報
- ・環境イベント情報

などを配信しています。

* EPO 東北のパートナーシップ団体

EPO東北は各県で環境活動を進める団体の協力を得て運営しています。

青森県環境パートナーシップセンター	http://www.eco-aomori.jp/
環境パートナーシップいわて	http://www.iwate-eco.jp/
環境あきた県民フォーラム	http://www.eco-akita.org/index.html
環境ネットやまがた	http://eny.jp/
超学際的研究機構	http://www.chogakusai.ecnet.jp/
せんだい・みやぎNPOセンター	http://www.minmin.org/
環境会議所東北	http://kk-tohoku.or.jp/

環境イベント情報・活動情報 募集中

EPO東北では皆さんが企画した環境イベント、東北で活動する環境団体の情報を集めています。イベントチラシ、メルマガ、会報誌、冊子などをお寄せください。EPO東北のオフィスやWeb-Site、メールマガジンでご紹介させていただきます。皆さんからの情報提供をお待ちしています。

運営団体について

EPO東北は2010年4月から東北地方環境事務所（環境省）と財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）が協働して運営しています。

- 東北地方環境事務所（環境省） <http://tohoku.env.go.jp/>
- 財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON） <http://www.melon.or.jp/melon/>

みやぎで地域やくらしから環境を考え、地球環境に寄与しようと生まれた環境NGOです。

水や緑、食、スポーツとエコなど、毎日のくらしや地域から環境を考え、たくさんの人をつなぎ環境活動を広めています。



EPO TOHOKU

東北環境パートナーシップオフィス
Environmental Partnership Office TOHOKU

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目5-1 オークビル5F

TEL : 022-290-7179 FAX : 022-290-7181

E-mail: info@epo-tohoku.jp URL: http://www.epo-tohoku.jp

勤務時間：月曜日～金曜日【9：30～18：00】

休日：土曜・日曜・祝日・お盆・年末年始



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。